

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 安定した経営基盤の確立
-----	---------------

施策主管課	商工振興課	総合計画記載頁	118ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	18 商工業の活力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	社会経済環境の変化に柔軟に対応し、「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、地域経済が活性化しています。
------	----------------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	中小企業が、経営力を備え、安定した経営基盤を確立しています。
------	--------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	制度融資における中小企業設備資金貸出総額(千円)	単年度目標値	497,000	530,000	560,000	590,000	620,000			650,000	A	中核市平均	従業者規模4~299人製造業の1製造業事業所あたりの製造品出荷額(百万円)	629.6						
	現状値	実績値	497,000千円	545,000						実績値	1,006.2										
	目標値(H29)	単年度の達成度	650,000千円	109.7%						中核市での本市の順位	5位/41市中										
① 施策指標		単年度目標値								中核市平均											
		現状値	実績値									実績値									
		目標値(H29)	単年度の達成度										中核市での本市の順位								
① 施策指標		単年度目標値								③ 市民意識調査結果	施策の満足度(%)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
		現状値	実績値																		-
		目標値(H29)	単年度の達成度																		
※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について ★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの) $\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$ ★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの) $\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$										施策の満足度の推移 		※評価の考え方 施策指標 A:達成度90%以上 B:達成度70%~90%未満 C:達成度70%未満 中核市等との水準比較(中核市での本市の順位) A:上位1/3(1~14位) B:中位(15~28位) C:下位1/3(29位以下) 市民意識調査結果(満足度) A:前年度より向上(2%超) B:前年度同水準(±2%以内) C:前年度より低下(-2%未満)									

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	長引くデフレや海外企業との競争の激化など、厳しい経済環境が続く中、景気の回復傾向とあわせ、市内企業の99%を占める中小企業においては、制度融資(設備資金)や高度化設備設置補助制度を活用し、新たな販路拡大に向け、積極的に技術革新に取り組むなど、社会経済環境の変化に迅速かつ柔軟に対応する企業の動きが見られる。	市民満足度		進捗の状況	順調
------	---	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	商工会議所中小企業相談所事業補助金	○	経営相談、技術・経営指導の充実	宇都宮商工会議所	商工業の振興のため、経営革新、経営改善などの相談事業に対し、事業に係る経費の一部補助	S35	中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、経営基盤の強化に向けた中小企業相談所事業の支援を継続することにより、商業者が社会経済環境の変化に対応しながら、安定した商業活動の維持を図る。
2	大谷石利用促進事業補助金		販路拡大の強化支援	市内で新增築を行う際、内外装の材料として、大谷石を活用する建築主及び買主	建物の内外装に大谷石を利用した際、工事費用の一部を補助する。	H22	大谷石需要の拡大及び大谷石産業の活性化を図るためには、市民の大谷石への愛着の醸成や大谷石の印象の向上が必要であることから、大谷石の販路促進等について進めていく。
3	商工会議所事業補助金		経済団体との連携強化	宇都宮商工会議所	商工業の振興のため、商品開発、主要な統計調査、事業所の広報宣伝などの一般事業に係る経費の一部補助	S34	本市商工業の振興のため、商工会議所事業に対して経営基盤の強化に向けた支援を継続することにより、商業者が社会経済環境の変化に対応しながら、安定した商業活動の維持を図る。
4	青年会議所事業補助金		経済団体との連携強化	宇都宮青年会議所	青年経営者の育成に資するため、青年会議所事業に係る経費の一部を補助	S43	中心商業地などの賑わい創出を通じ、事業者としての協力・協調性を学ぶ青年会議所事業の支援を継続し、青年経営者の育成を図る。
5	うつのみや市商工会事業補助金		経済団体との連携強化	うつのみや市商工会	商工業の振興のため、経営・技術強化支援、金融相談などの一般事業に対し、事業に係る経費の一部補助	H23	本市商工業の振興のため、商工会事業に対して経営基盤の強化に向けた支援を継続することにより、商業者が社会経済環境の変化に対応しながら、安定した商業活動の維持を図る。
6	宇都宮工業団地管理運営補助金		経済団体との連携強化	宇都宮工業団地総合管理協会	宇都宮工業団地総合管理協会の管理・運営に要する経費の一部支援	H15	宇都宮工業団地は、本市工業の中核であり、重要な産業拠点であることから、団地内の良好な操業環境を維持するための支援を継続し、団地内企業との意見交換などを実施するなど、団地内企業との連携強化を図る。
7	県中小企業団体中央会事業補助金		事業者の組織化支援	栃木県中小企業団体中央会	栃木県中小企業団体中央会が行う組織化事業に係る経費の一部補助	S42	事業協同組合、企業組合の組織化とそれによる消費、商品流通の増進を図るため、同団体が行う組織化事業や、経営基盤の強化に向けた支援を継続することにより、商業者が社会経済環境の変化に対応しながら、安定した商業活動の維持を図る。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆リーマンショック以降、震災や円高等の影響による、デフレ経済の長期化や海外企業との競争の激化、さらには金融円滑化法の終了など、本市経済を支え、市内企業の99%を占める中小企業を取り巻く環境は厳しい状態が続いており、企業経営における基礎体力を強化するため、安定した経営基盤の確立が求められている。</p> <p>◆金融円滑化法の終了に伴い、事業継続に向けた資金調達の円滑化のための支援が必要である。</p> <p>◆中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、経営支援の一層の充実を図るため、中小企業と結びつきの深い商工団体との更なる連携強化を図る必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆中小企業においては、急激な社会環境の変化にも迅速に対応できるよう、安定した経営基盤の確立が重要であることから、商工会議所などの経済団体や金融機関との連携強化を図り、相談体制の充実、資金調達の円滑化などについて支援体制の強化に取り組む。また、企業ニーズに即した制度融資の充実など、円滑な資金調達や事業承継が図れるよう努め、中小企業の経営基盤の確立を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆商工会議所中小企業相談所事業補助金については、経営支援体制の充実を着実に推進するため、商工団体への支援を継続していく。また、各経済団体への補助事業についても、各団体との意見交換等を通じ、情報を共有化し、相互補完できるよう連携の強化を図る。</p>